

高知市上下水道事業経営審議会（第2回）議事録

- 1 日時** 平成28年3月2日（水） 午後1時30分～午後3時30分
- 2 場所** 高知会館3階 平安
- 3 出席者** 委員（出席）
青木 朋一，井津 葉子，川添 裕一郎，那須 清吾，西岡 啓二郎，
西森 やよい，久武 邦雄，広末 幸彦，藤原 拓
（欠席）
関田 浩美
※ 50音順 敬称略
事務局
海治上下水道事業管理者，山本局長，杉本次長，林次長，
澤村企画総務課長，石本営業管理課長，濱田給排水サービス課長，
山本水道整備課長，森浄水課長，中田下水道整備課長，
明神下水道施設管理課長，鎌倉副参事
- 4 会議形式** 公開
- 5 傍聴者** 0人
- 6 会議次第**
- (1) 管理者挨拶
 - (2) 事務局説明
共通
 - 1 前回の宿題（共通）
水道事業の合理化案等
 - 2 これまでの合理化の取り組み
 - 3 SWOT分析
 - 4 合理化案の提示
 - 5 投資計画の策定に当たって水道事業の資料説明
 - (3) 意見交換
 - (4) 事務局説明
公共下水道事業の合理化案等
 - 2 これまでの合理化の取り組み
 - 3 SWOT分析
 - 4 合理化案の提示
 - 5 投資計画の策定に当たって共通
 - 6 第3回に向けて
 - (5) 意見交換
 - (6) その他（次期経営審議会の開催日について）

7 配布資料

資料－1 第2回審議会資料（水道事業）

資料－2 第2回審議会資料（公共下水道事業）

主な意見等

○ 水道事業

広域連携

- ・ 水質検査の広域連携について、民業圧迫と受け取られないような整理が必要。
- ・ 高知市だけでなく近隣市町村も困難な状況にあるのではないかと。20年スパンで見れば、「広域化」は重要なキーワード。
- ・ 水需要の減少は高知市に限らず県全域で考えられると思う。全域的な取り組みにはならないのか

料金体系の見直し

- ・ 地下水利用者に対しては、「いつでも蛇口をひねれば水が出る」というインフラ整備のための費用負担が必要ということの説明し、基本料金の割合を上げることに對して理解を得れば良いのではないかと。
- ・ 高知市の料金の全国レベルでの比較や、料金に占める固定費・変動費の比率など全体的な説明ができるように整理して欲しい。

経営戦略

- ・ SWOT分析の強み、弱みは戦略を立てることによって変わる。戦略を踏まえて、また分析という過程を2～3回やってみたら良い。

○ 公共下水道事業

連携

- ・ 汲み取りから公共下水につなげることで市全体としての費用削減効果はないのか。連携して汚水処理事業を行ってほしい。

10年概成論

- ・ 生活排水処理構想の見直しは、中期ビジョンからの見直しになる。国が新技術の導入を進めており、今後の処理水量のピークを乗り越えながらも、その後の水量減少を見越し、過大投資とならないような手法の検討が必要。
- ・ 最小の投資で効果が上がるような投資計画が必要。

○ 事業共通

広報

- ・ 事業を正しく理解していただき、安心・安全な生活を支えるインフラを全体で支えていくという意識を広めるためには、広報が重要であり、喫緊の課題である。また、学校への出前授業や施設見学などで子供たちに伝え、そこから親に広げていくような取組みも必要。

投資計画・財政計画

- ・ 職員1人あたりの有収水量や企業債残高等，他都市との比較も入れながら次回資料をお願いします。
- ・ 料金改定の想定等はパターンをいくつか示しながら比較できるものをお願いします。

その他

- ・ 「ふるさと納税」のように，見返り・特典によってお金を出す側が楽しく負担するような，おもしろい制度は考えられないか。